

ISO14001

平成15年2月にISO14001の認証を取得し、環境目標を設定して活動しています。

環境目標実施状況 2022年度結果(2022年9月～2023年8月)

環境目標	実施内容	結果	今後の取組
安全操業の向上	社員教育を徹底し、安全パトロール・安全会議を行い、危険箇所抽出・対策を行いました。また緊急事態(火災)を想定した訓練を行いました。	左記内容の実施 重大事故なし	引き続き社員教育を実施するとともに、危険箇所を抽出し事故防止対策を進めていきます。
廃棄物回収量の拡大	安心して廃棄物を委託していただけるよう、情報公開等により、お客様に当社の適正処理とリサイクル、発電をアピールしました。	新規契約目標達成率 302%	より多くの廃棄物を適正処理するために新規顧客の開拓に努めます。
電子マニフェスト (電子マニフェスト化率58.5%以上)	お客様に電子マニフェスト導入のメリットをアピールしました。	達成率 103%	引き続きお客様へのアピールを行い、電子マニフェスト化推進に努めます。
電力使用量の削減 (前年度比1%削減)	廃棄物発電リサイクルプラント(5号炉)を適切に維持管理し、発電電力の場内利用及び、余剰電力の売電を行いました。	達成率 102%	引き続き廃棄物発電リサイクルプラントの安定稼働に努めます。
熱回収施設による熱回収 (熱回収率10%以上)	5号発電設備について、ボイラダスト除去等適切に運用管理し、熱回収率10%以上を維持管理しました。	達成率 214%	引き続き施設の維持管理に努めます。
環境美化活動の実践 (毎回全5部署から参加)	まちかど100mクリーンアクションに参加し、地域美化活動を行いました。	達成率 100%	引き続き社員の環境美化意識の向上を図ります。

ひょうごバイオマスecoモデル登録(令和3年度)

兵庫県ではバイオマスの利活用を推進するため、バイオマス利活用の普及・拡大に向けて県民や事業者等の参画を牽引するような取組を「ひょうごバイオマスecoモデル」として登録し、それらの取組内容を積極的にPRすることにより、県下におけるバイオマス利活用の推進を図っています。

新日本開発の「高効率廃棄物発電及びセメント原料化」の取り組みが、令和3年度ひょうごバイオマスecoモデルに登録されました。



登録番号	84
取組概要	高効率廃棄物発電及びセメント原料化
バイオマスの種類	畜産副産物、食品残渣、下水汚泥、有機汚泥、動植物性廃油
取組の区分 〔開始(予定)年月〕	既存〔令和2年1月〕
先導性の基準	技術(システム)

POINT

- ・畜産副産物や肥料・飼料に向かないため単純廃棄されてきたバイオマス系廃棄物を、廃プラスチック類等と前処理混合することで、安定的に燃焼
- ・高効率廃熱ボイラーで発電し、場内利用および売電
- ・燃え殻はセメント会社へ搬出しセメント原料化